

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20093
課題名	大腸癌患者における術後合併症の予測因子の検討
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2025年3月31日
研究の対象	2017年7月1日～2025年3月31日に当院で大腸癌の手術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病歴・カルテ番号・年齢・性別・身長・体重・血液検査結果・inBODY・術前情報（術前診断・併存疾患・術前画像等）、手術情報（術式・手術時間・出血量・リンパ節郭清の程度等）、病理診断、術後合併症等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>最近、世界では年間420万人が手術後30日以内に死亡（術死）しており、その頻度は、虚血性心疾患、脳血管疾患に次ぐ全死亡原因の第3位であるとのデータが発表されました。術死の原因の多くは術後合併症が要因となっています。致命的とははならずとも、術後合併症の発生は在院期間の延長や高騰を続ける医療費のさらなる増大、患者様のQuality of Life(QOL)の低下などの誘因となります。さらに、多くの消化器癌手術において、腫瘍学的予後の悪化を招くことが報告されています。</p> <p>術前に行う検査（血液検査、体組成計(InBody))で、術後合併症を生じる高リスクの症例を選択し、その症例の合併症を減らすことが出来れば、医療費のさらなる増大や患者様のQOLの低下だけではなく、腫瘍学的予後の悪化を抑えられるかもしれません。</p> <p>今回、術前に測定可能な患者因子（年齢、性別、BMI(Body Mass Index)、NLR(好中球リンパ球比)、CAR(CRPアルブミン比)、PLR(血小板リンパ球比)、PNI(Prognostic Nutritional Index)、mGPS(modified Glasgow Prognostic Score)、CONUT score(Controlling Nutritional Status)、四肢筋肉量(四肢SMI;Skeltal Muscle mass Index)、全身筋肉量(全身SMI))だけではなく、手術因子（手術時間、出血量、リンパ節郭清の程度）、腫瘍因子（深達度、リンパ管侵襲、静脈侵襲、リンパ節転移個数、遠隔転移の有無、組織型）なども用いて、それぞれが術後合併症への関与の有無を検討することを本研究の目的とします。</p>
研究の方法	<p>2017年7月1日～2025年3月31日の期間で、当科で待機的に切除した大腸癌の症例を対象としました。以下の項目の調査を行います。</p> <p>カルテを用いた患者情報、病理診断、術後合併症。統計ソフト（EZR）を用いて単変量解析、多変量解析を行い評価する。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が</p>

ない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学 外科学講座 消化管外科学分野

電話 0166-68-2503 FAX 0166-68-2193

研究責任者：

旭川医科大学外科学講座 消化管外科学分野 助教 谷 誓良